

## 平城高校2年生の皆さんへ vol.2

こんなに緑の美しい季節であるにもかかわらず、5月末まで学校が再開されないという決定が下されたことに、ストレスのかかる日々を送っているのかもしれない。

殺伐とした日々を送る中で、感染者数がピークを越えてやや収まりつつあるという情報が、一抹の光となっているのではないのでしょうか。

でも、まだまだまだ油断をしてはいけませんよ。おうちにいてください。

全国高校総体（インターハイ）までも、中止となりました。

このニュースはインターハイを目指している多くの平城高校生にとって、最もショッキングな出来事であったと思います。

何のためにあのしんどい冬のトレーニングをしてきたのか。

チームメートや顧問の先生と夢見た目標は何であったのか。

全国の高校生にとっても、進路や将来の展望をこのインターハイに繋げていた選手が、その展望がなくなってしまったことは大きな悲しみであると思います。

私たち顧問にとっても、2・3年で行える平城高校としての最後のインターハイが無くなってしまったことは、ものすごく辛いです。

でも、私たちが目標に向かい、ここまで頑張ってきたという事実は残ります。結果ではなく過程はいつまでたっても、私たちの思い出として生きています。そして、それが君たちの将来の礎となるのです。いつまでもそれらの思い出を大切にしてくださいね。

多くの質問が寄せられています。

各教科の質問に対して、先生方が真摯に応えようとしてくれています。

でも、教科以外の質問や要望があってもいいかな…と思います。会えなくても、君たちとのコミュニケーションは大切にしたいと思っています。

昔、交通手段がなく頻繁に会えなかった頃は、みんな文通をしていました。

還ってそれが、人間関係を深めたこともあるようです。何事も前向きにとらえて、この難局を乗り越えましょう。

2学年主任 前川恭彦